



平成 29 年 10 月 25 日

各 位

会 社 名 サンケン電気株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 和田 節
 コード番号 6707 (東証 市場第一部)
 問 合 せ 先 執行役員
 財務 IR 統括部長 村野 泰史
 T E L (048)487-6121

特別損失の発生並びに業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年7月18日付「子会社における第三者割当による新株式発行及びグループ構造改革の実施に関するお知らせ」にて公表の通り、当社グループでは構造改革の実施に取り組んでおりますが、これに伴い、平成30年3月期第2四半期決算において特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

また、併せて、最近の市況動向並びに本特別損失の発生等を踏まえ、平成29年5月10日に公表した平成30年3月期業績予想を修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生

(1) 連結決算

平成29年10月17日にお知らせしました通り、特別早期退職プログラムの実施に伴い16億80百万円の特別損失が発生します。これに加えて、構造改革として実施している非戦略市場及び不採算製品からの撤退に伴う棚卸資産の評価減・廃却等により、特別損失が発生します。これら合計で、第2四半期に特別損失として事業構造改革費用165億31百万円が発生します。

(2) 個別決算

個別決算においても、前述の特別早期退職プログラム実施による特別損失の発生に加え、構造改革に伴う棚卸資産の評価減・廃却、関係会社株式評価損並びに関係会社貸倒引当金繰入額の計上により特別損失が発生します。これら合計で、第2四半期に特別損失として事業構造改革費用184億37百万円が発生します。

2. 業績予想の修正

(1) 平成30年3月期第2四半期連結業績予想の修正（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) 平成29年5月10日公表	百万円 78,500	百万円 2,700	百万円 2,100	百万円 200	円 銭 1.65
今回修正予想(B)	86,000	5,400	5,600	△13,100	△108.09
増減額(B-A)	7,500	2,700	3,500	△13,300	—
増減率(%)	9.6%	100.0%	166.7%	—	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期第2四半期)	76,055	2,161	1,425	△72	△0.60

(2) 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) 平成 29 年 5 月 10 日公表	百万円 159,000	百万円 7,300	百万円 6,000	百万円 2,500	円 銭 20.63
今回修正予想(B)	173,000	10,000	9,000	△13,700	△113.04
増減額(B-A)	14,000	2,700	3,000	△16,200	—
増減率(%)	8.8%	37.0%	50.0%	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	158,772	5,930	5,026	1,739	14.35

(3) 修正の理由

白物家電向けデバイス及び米国子会社 Allegro MicroSystems, LLC におけるビジネスが好調に推移したことから、第 2 四半期及び通期の連結売上高は従来予想を上回る見通しです。損益面につきましては、売上増に伴い営業利益が増加したことに加え、為替レートが期初の想定に対し円安方向で推移していることによる押し上げ効果もあり、営業利益及び経常利益は第 2 四半期及び通期ともに従来予想を大幅に上回る見通しとなりました。この一方で、構造改革の実施に伴い、上記 1. (1) に記載の通り、特別損失として事業構造改革費用 165 億 31 百万円が発生することにより、親会社株主に帰属する当期純利益は、第 2 四半期及び通期ともに従来予想に比べ大幅に減少する見通しとなりました。

以 上